

平成27年  
火災・救急・救助統計



瀬戸市消防本部

# 火災

出火件数 31 件 (前年比 12件減)  
 死者 1 人 (前年比 増減なし)  
 負傷者 6 人 (前年比 増減なし)

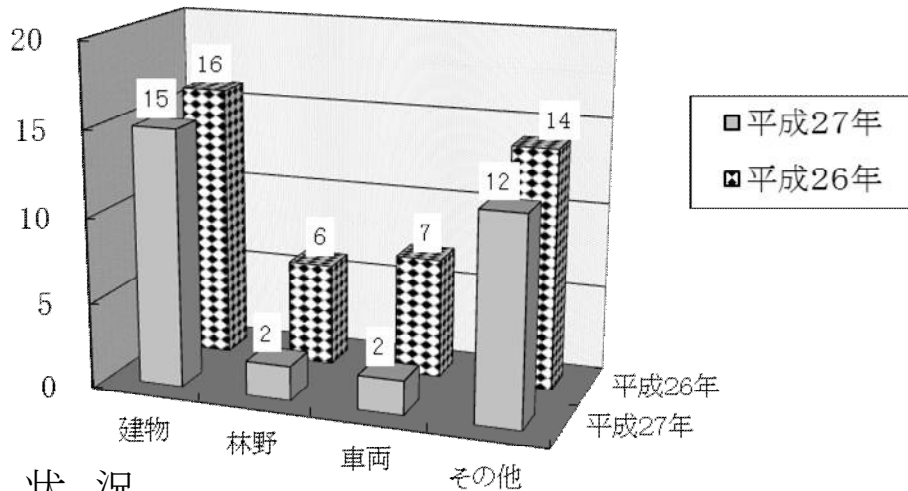


## 1 火災概要

出火件数は31件で、前年に比べ12件減少し、昭和45年に現在の方法で統計を取り始めて以来最も少ない出火件数となりました。

火災種別でみると、「建物火災」が15件で最も多く、全体の48.4%を占め、次いで「その他火災」が12件、「林野火災」と「車両火災」がそれぞれ2件という状況でした。前年に比べ「車両火災」が5件、「林野火災」が4件、「その他火災」が2件、「建物火災」が1件それぞれ減少しました。

火災による死傷者は、住宅火災による死者が1名、こんろ火災の初期消火活動中などに負傷者が6名発生しました。



## 火災発生状況

区分 月別	出火件数						焼損棟数	焼損面積		損害額 (千円)	死傷者		
	計	建物 (住宅)	林野	車両	その他	建物 m <sup>2</sup>		林野 a	死者 (住宅)		負傷者		
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2月	4	1 (1)	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	
3月	6	4 (3)	0	0	2	4	0	0	139	0	0	1	
4月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
5月	6	1	2	0	3	1	56	47	814	0	0	1	
6月	1	1	0	0	0	1	0	0	51	0	0	0	
7月	2	2 (1)	0	0	0	3	100	0	246	0	0	1	
8月	3	0	0	2	1	0	0	0	6,975	0	0	0	
9月	3	3 (1)	0	0	0	6	122	0	13,612	1 (1)	0	0	
10月	3	1 (1)	0	0	2	1	44	0	4,623	0	0	1	
11月	2	2 (1)	0	0	0	2	12	0	380	0	0	2	
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	31	15 (8)	2	2	12	19	334	47	26,840	1 (1)	0	6	
平成26年	43	16 (12)	6	7	14	23	773	15	97,342	1	0	6	

## 2 焼 損 状 況

建 物	334	m <sup>2</sup>	(前年比 439m <sup>2</sup> 減)
林 野	47	a	(前年比 32a増)
焼損棟数	19	棟	(前年比 4棟減)



前年に比べ林野焼損面積は32a増加しましたが、建物焼損面積は439m<sup>2</sup>、焼損棟数は4棟それぞれ減少しました。

## 3 損 害 額

総 額 26,840 千円 (前年比 70,502千円減)

出火防止対策、火災の早期発見及び的確な初期消火活動により建物焼損面積が減少したことなどにより、損害額は前年に比べ70,502千円減少しました。

平成27年の損害額は26,840千円で、現在の方法で統計を取り始めて以来、昭和52年の22,169千円に次いで2番目に少ない損害額でした。

## 4 初 期 消 火 実 施 状 況

区分 火災種別	火災件数 (A)	初 期 消 火 の 種 類					初期消火 実施件数 (B)	実施率(%) (B)/(A)	平成26年 実施率(%)
		消火器	水バケツ	水道水	汲み置き水	その他			
建物火災	15	4	0	3	0	3	10	66.7	81.3
林野火災	2	0	0	0	0	1	1	50.0	50.0
車両火災	2	2	0	0	0	0	2	100.0	42.9
その他火災	12	0	1	0	2	2	5	41.7	64.3
合 計	31	6	1	3	2	6	18	58.1	65.1

## 5 連区別火災発生状況

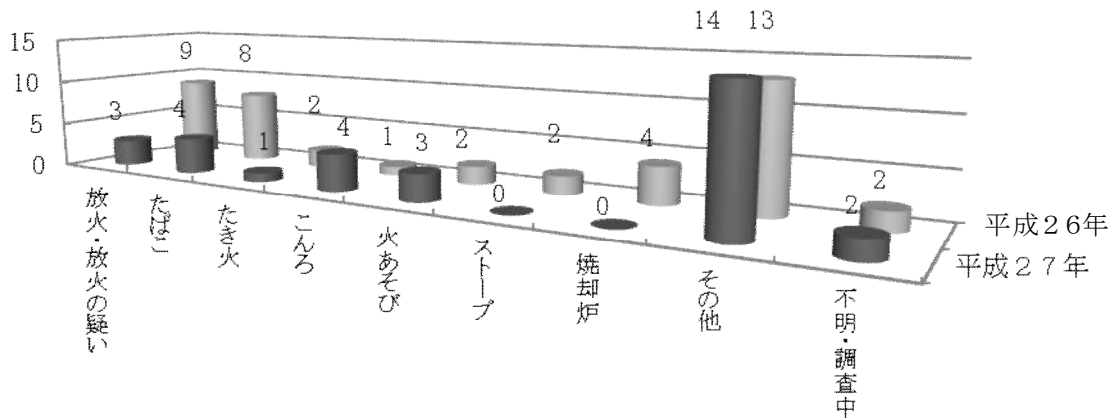
火災発生状況を連区別でみると、水野連区が6件で最も多く、次いで菱野連区が4件の順になっています。無火災連区は、深川、古瀬戸、效範、萩山台及び八幡台の5連区でした。

### 連区別火災発生状況

連区別 区分	計	道 泉	深 川	古 瀬 戸	東 明	祖 母 懐	陶 原	長 根	效 範	水 南	水 野	西 陵	原 山 台	萩 山 台	八 幡 台	品 野	下 品 野	山 口	本 地	菱 野	新 郷
建 物	15	3	0	0	0	0	0	1	0	1	4	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1
林 野	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
車 両	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	12	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	1	3	1
計	31	3	0	0	2	1	1	1	0	1	6	1	3	0	0	3	1	1	1	4	2
平成26年	43	2	1	0	2	0	0	0	2	5	16	0	1	3	1	2	1	2	1	2	2

## 6 出 火 原 因

- 1 位 たばこ 4件(12.9%)
- 1 位 こんろ 4件(12.9%)
- 3 位 放火・放火の疑い 3件(9.7%)
- 3 位 火あそび 3件(9.7%)



《出火原因の第1位は「たばこ」及び「こんろ」》

出火原因別にみると、「たばこ」と「こんろ」が4件で最も多く、次いで「放火・放火の疑い」と「火あそび」が3件という状況でした。

住宅火災の出火原因のトップでもある「こんろ」は、調理中の鍋の放置などが原因です。

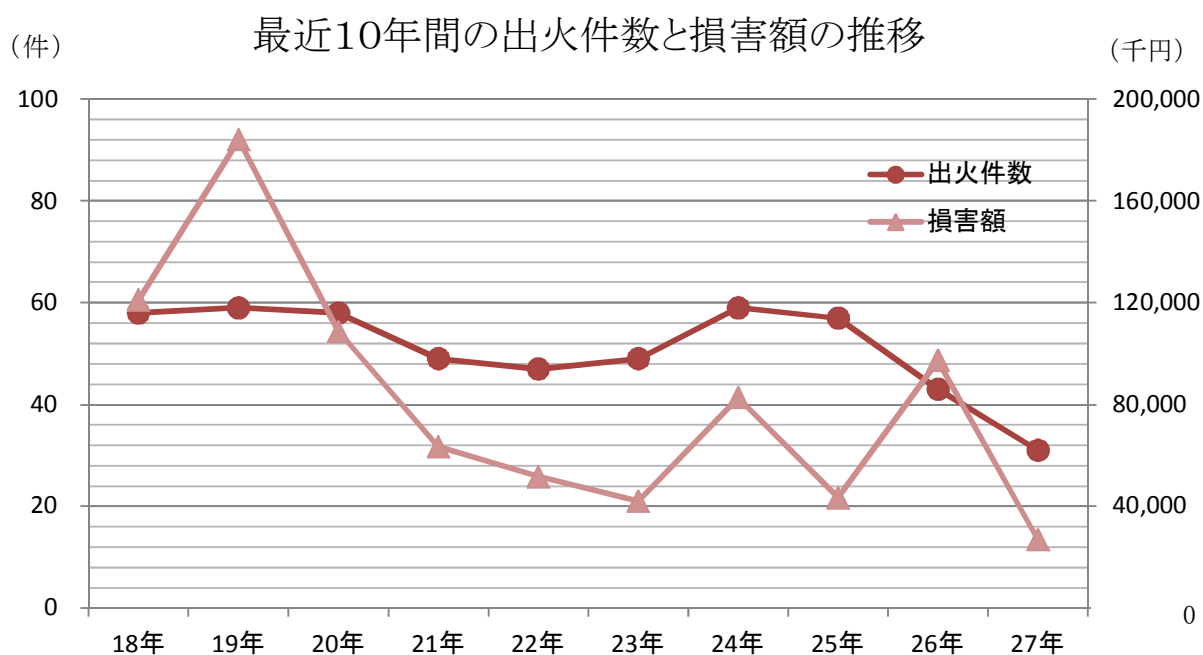
「放火・放火の疑い」は過去10年間で最も少なく、安心・安全パトロール等の成果により過去10年間の平均件数16件に比べ大幅に減少しました。

## 7 火災発生状況の推移

平成27年の出火件数を最近10年間の平均値と比較すると、「建物火災」は7件、「林野火災」と「その他火災」はそれぞれ5件、「車両火災」は4件減少しました。

また、過去10年間と比較すると、建物焼損面積は2番目に少なく、損害額は最も少ない年となりました。

区 分 年 別	出 火 件 数					焼 損 面 積		死 傷 者 数		損 害 額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	その他	建物 (m <sup>2</sup> )	林野 (a)	死者	負傷者	
平成 18 年	58	34(23)	4	9	11	1,298	22	3	11	121,168
平成 19 年	59	25(16)	10	8	16	3,324	47	1	6	184,095
平成 20 年	58	26(18)	7	7	18	1,300	24	2	6	108,733
平成 21 年	49	18(11)	10	3	18	310	25	2	10	63,478
平成 22 年	47	21(15)	9	2	15	532	17	3	3	51,715
平成 23 年	49	21(10)	8	5	15	619	188	3	6	42,041
平成 24 年	59	19(7)	6	9	25	1,125	53	2	5	82,769
平成 25 年	57	21(13)	9	4	23	498	79	1	8	43,391
平成 26 年	43	16(12)	6	7	14	773	15	1	6	97,342
平成 27 年	31	15(8)	2	2	12	334	47	1	6	26,840
10 年間平均	51	22(13)	7	6	17	1,011	52	2	7	82,157



# 救急

救急出動件数 5,360件(前年比 59件減)

救急搬送人員 5,073人(前年比 77人増)

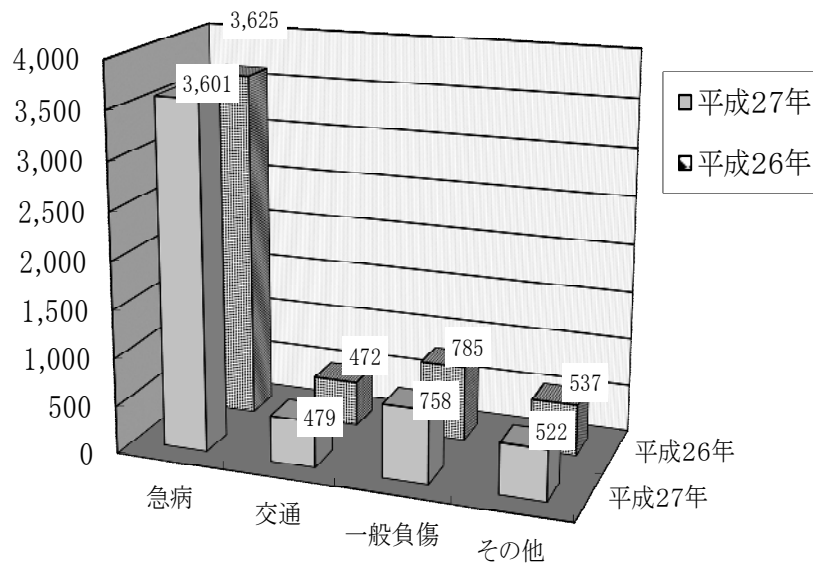


## 1 救急概要

救急出動件数は5,360件で、前年に比べ59件減少しましたが、5年連続で5千件を超え、月平均447件、一日平均14.7件という状況でした。

事故種別でみると、「急病」が3,601件で全体の67.2%を占め、次いで「一般負傷」が758件(14.1%)、「交通事故」が479件(8.9%)という状況でした。

救急搬送人員は5,073人で、前年に比べ77人増加し、過去最多となりました。



## 月別救急出動状況

区分 月別	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
1月	558	0	0	0	40	3	2	85	2	2	386	38
2月	408	0	0	0	29	5	0	44	3	3	295	29
3月	416	1	0	0	31	2	5	66	3	5	279	24
4月	407	0	0	0	33	1	2	65	1	4	275	26
5月	424	1	0	0	39	3	5	70	0	2	273	31
6月	417	0	0	0	40	2	2	62	3	2	279	27
7月	495	0	0	0	35	8	7	65	1	4	331	44
8月	456	0	0	0	49	3	5	57	3	1	310	28
9月	436	0	0	0	47	2	2	58	0	1	288	38
10月	454	1	0	0	58	7	5	64	2	3	282	32
11月	454	3	0	0	42	7	3	63	2	4	298	32
12月	435	0	0	0	36	5	1	59	2	5	305	22
計	5,360 (5,073)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	479 (486)	48 (48)	39 (33)	758 (738)	22 (20)	36 (16)	3,601 (3,442)	371 (284)
平成26年	5,419 (4,996)	5 (6)	0 (0)	0 (0)	472 (477)	35 (32)	35 (34)	785 (760)	16 (15)	36 (18)	3,625 (3,391)	410 (263)

【備考】( )内は、救急搬送人員を示す。

## 2 連区別救急搬送人員

区分	急病	一般負傷	交通事故	その他	合計
道 泉	132	31	5	10	178
深 川	105	14	5	11	135
古瀬戸	110	23	13	3	149
東 明	59	10	16	4	89
祖母懐	118	28	6	7	159
陶 原	227	58	33	35	353
長 根	250	57	47	23	377
效 範	416	82	53	71	622
水 南	281	64	33	64	442
水 野	217	49	42	36	344
西 陵	134	30	17	12	193
原山台	171	31	9	18	229
萩山台	111	15	1	2	129
八幡台	132	30	6	4	172
品 野	118	27	28	18	191
下品野	201	44	17	11	273
山 口	212	55	53	43	363
本 地	149	30	50	8	237
菱 野	128	29	15	10	182
新 郷	154	26	19	18	217
管区外	13	4	18	4	39
<b>合 計</b>	<b>3,438</b>	<b>737</b>	<b>486</b>	<b>412</b>	<b>5,073</b>

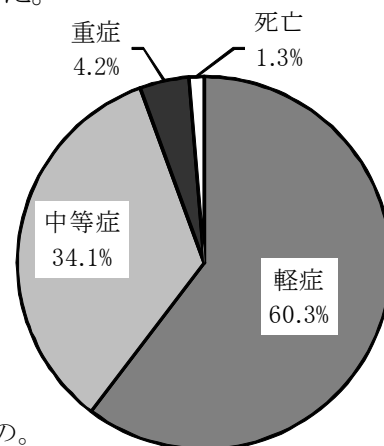
【備考】「その他」とは、「急病」、「一般負傷」及び「交通事故」以外の事故種別をいう。

## 3 傷病程度別搬送人員

救急搬送人員5,073人のうち、死亡、重症及び中等症を合わせた傷病者の割合は全体の39.7%、軽症の傷病者は3,061人(60.3%)でした。

また、男女別の構成比率は、男性53.7%、女性46.3%でした。

程度別 \ 性別	男 性	女 性	合 計
死 亡	40	26	66
重 症	113	102	215
中等症	963	768	1,731
軽 症	1,610	1,451	3,061
合 計	2,726	2,347	5,073



- 【備考】
- 1 死亡とは、初診時において死亡が確認されたもの。
  - 2 重症とは、傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
  - 3 中等症とは、傷病程度が重症または軽症以外のもの。
  - 4 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないもの。

## 4 年齢区分別搬送人員

年齢区分別の搬送人員をみると、高齢者が3,149人(前年比58人増)で全体の62.1%を占めています。また、「急病」のうち高齢者の占める割合は67.9%で、「一般負傷」のうち高齢者の占める割合は65%でした。

事故種別 年齢区分	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
新生児 (構成比:%)	1 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.3)	8 (1.9)	11 (0.2)
乳幼児 (構成比:%)	117 (3.4)	15 (3.1)	54 (7.3)	8 (1.9)	194 (3.8)
少年 (構成比:%)	88 (2.6)	47 (9.7)	39 (5.3)	25 (6.1)	199 (3.9)
成人 (構成比:%)	897 (26.1)	308 (63.4)	163 (22.1)	152 (36.9)	1,520 (30.0)
高齢者 (構成比:%)	2,335 (67.9)	116 (23.9)	479 (65.0)	219 (53.2)	3,149 (62.1)
合計 (構成比:%)	3,438 (100.0)	486 (100.0)	737 (100.0)	412 (100.0)	5,073 (100.0)

【備考】年齢区分は次によっている。

- 1 新生児 生後28日未満の者
- 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- 3 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者 満65歳以上の者

## 5 救命率の推移

(%)

区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
瀬戸市	0	55.6	40.0	50.0	40.0
愛知県	27.9	28.6	29.9	27.2	
全国	20.8	21.5	22.4	23.0	

※ 救命率とは、①目撃のある突然心肺停止である、②AEDが使用できる心電図波形(VF・VT)である救急患者を救急搬送し、1か月後に社会復帰できた割合をいう。

※ 平成27年中の愛知県・全国の「救命率」は平成28年1月現在未発表

## 6 バイスタンダーCPR実施状況

(%)

項目	平成23年			平成24年			平成25年			平成26年			平成27年			
	発生 件数	実施 件数	実施率	発生 件数	実施 件数	実施率	発生 件数	実施 件数	実施率	発生 件数	実施 件数	実施率	発生 件数	実施 件数	実施率	
目撃	あり	43	28	65.1	47	25	53.2	52	37	71.2	41	26	63.4	51	36	70.6
	なし	86	59	68.6	82	58	70.7	73	57	78.1	78	59	75.6	76	61	80.3
	合計	129	87	67.4	129	83	64.3	125	94	75.2	119	85	71.4	127	97	76.4

※ バイスタンダーCPRとは「救急現場に居合わせた人が行う心肺蘇生法」をいう。



## 7 救急出動件数の推移

救急出動件数は、平成18年の4,457件に対し、平成27年には5,360件と903件(20.3%)増加しました。また、事故種別でみると、「急病」と「一般負傷」が大きく増加しており、10年の平均値と比較すると「急病」が315件、「一般負傷」が112件増加しました。

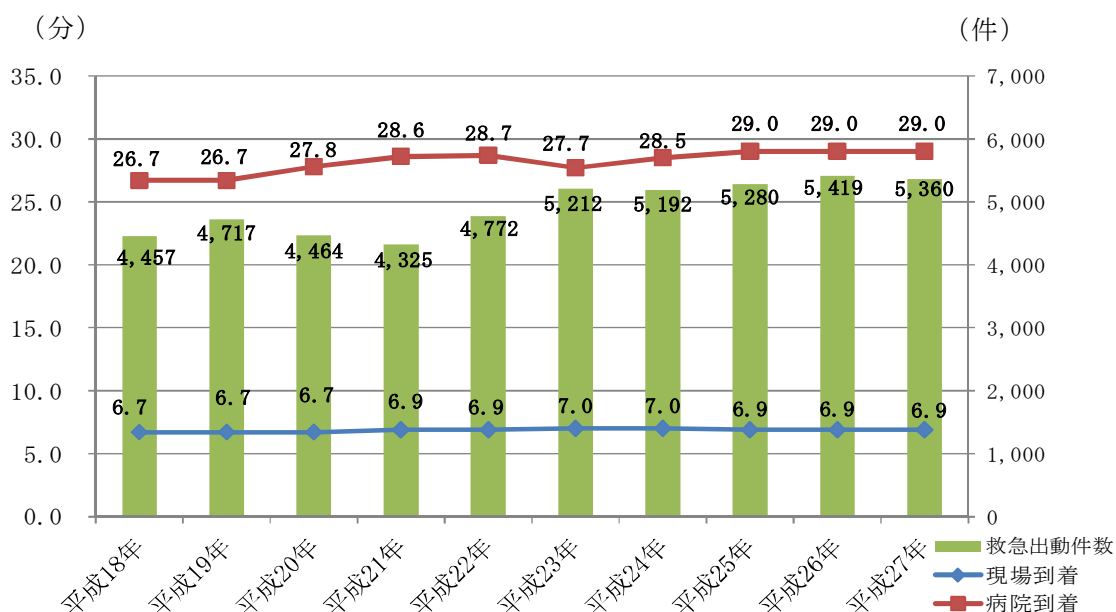
### 最近10年間の救急出動状況

区分 年 別	計	対前 年 増加 率 (%)	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
平成18年	4,457	▲ 5.8	11	0	0	507	42	41	601	27	43	2,880	305
平成19年	4,717	5.8	9	0	0	503	40	27	575	25	68	3,149	321
平成20年	4,464	▲ 5.4	9	0	0	465	48	30	577	22	53	2,981	279
平成21年	4,325	▲ 3.1	7	0	0	434	41	31	549	33	43	2,916	271
平成22年	4,772	10.3	1	0	2	479	53	38	613	22	52	3,164	348
平成23年	5,212	9.2	9	0	1	482	47	57	667	30	61	3,487	371
平成24年	5,192	▲ 0.4	2	0	0	437	58	32	685	33	46	3,482	417
平成25年	5,280	1.7	7	0	0	480	39	46	650	21	51	3,574	412
平成26年	5,419	2.6	5	0	0	472	35	35	785	16	36	3,625	410
平成27年	5,360	▲ 1.1	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	371

▲は減を示す

10年間平均	4,920	2.0	7	0	0	474	45	38	646	25	49	3,286	351
--------	-------	-----	---	---	---	-----	----	----	-----	----	----	-------	-----

### 最近10年間の救急出動件数及び現場・病院到着平均所要時間の推移



# 救助

救助出動件数 72 件  
 (前年比 1件増)  
 救助人員 39 人  
 (前年比 9人増)



## 1 救助概要

救助出動件数は統計を取り始めて以来最も多い72件で、このうち、救助活動を実施した件数は39件、救助人員は39名でした。

事故種別でみると、「建物等による事故」が34件で最も多く全体の47.2%を占め、次いで「交通事故」が20件(27.8%)という状況でした。

前年に比べ「建物等による事故」が11件、「ガス及び酸欠事故」が3件、「機械による事故」が2件それぞれ増加し、「交通事故」が10件、「その他の事故」が6件それぞれ減少しました。

「その他の事故」は、転落事故や車内閉じ込め、などによる救助要請でした。

### 月別救助件数

区分 月別	計	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 等	風 水 害 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
1月	8 (2)	0	2 (0)	0	0	0	0	4 (1)	1 (1)	0	1 (0)
2月	2 (2)	0	0	0	0	0	0	2 (2)	0	0	0
3月	6 (2)	0	2 (0)	0	0	0	0	2 (1)	0	0	2 (1)
4月	6 (3)	0	0	0	0	0	0	5 (2)	0	0	1 (1)
5月	8 (6)	0	4 (3)	0	0	0	0	3 (3)	0	0	1 (0)
6月	6 (2)	0	3 (1)	0	0	0	0	2 (1)	0	0	1 (0)
7月	7 (4)	0	2 (1)	0	0	0	0	5 (3)	0	0	0
8月	3 (1)	0	2 (1)	0	0	0	0	0	0	0	1 (0)
9月	5 (4)	0	0	0	0	0	0	5 (4)	0	0	0
10月	8 (4)	1 (1)	2 (1)	0	0	0	0	2 (0)	1 (0)	0	2 (2)
11月	7 (4)	0	2 (0)	0	0	0	0	3 (2)	1 (1)	0	1 (1)
12月	6 (5)	0	1 (1)	0	0	0	3 (2)	1 (1)	0	0	1 (1)
計	72 (39)	1 (1)	20 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	34 (20)	3 (2)	0 (0)	11 (6)
救助人員	39	1	8	0	0	0	2	20	2	0	6
平成26年	71 (29)	0 (0)	30 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	23 (10)	0 (0)	0 (0)	17 (10)
救助人員	30	0	9	0	0	0	1	10	0	0	10

【備考】( )内は、救助活動件数を示す。

## 2 連区別救助出動件数

連区名	計	道泉	深川	古瀬戸	東明	祖母懐	陶原	長根	效範	水南	水野	西陵	原山台	萩山台	八幡台	品野	下品野	山口	本地	菱野	新郷	管外
出動件数	72	4	1	2	2	1	2	9	12	7	4	1	4	2	1	8	1	2	4	0	4	1

## 3 救助出動件数の推移

救助出動件数は平成23年から5年連続で60件を超えており、平成27年の救助出動件数は統計を取り始めて以来最も多い72件でした。

また、平成27年の事故種別救助出動件数を10年間の平均値と比較すると、「建物等による事故」は18件増加し、「交通事故」は5件減少しました。

年別 \ 区分	計	火災	交通事故	水難事故	自然風水災害等	機械による事故	よ建る物事等故に	酸ガス事及び	破裂事故	その他の
平成18年	53 (30)	2 (2)	37 (16)	0	0	1 (1)	7 (5)	0	0	6 (6)
平成19年	42 (20)	0	25 (13)	0	0	3 (1)	5 (1)	0	0	9 (5)
平成20年	51 (26)	3 (3)	20 (7)	0	0	0	14 (6)	1 (0)	0	13 (10)
平成21年	47 (23)	0	28 (11)	0	0	1 (1)	9 (5)	1 (1)	0	8 (5)
平成22年	48 (17)	1 (1)	19 (4)	2 (0)	0	2 (1)	10 (5)	1 (1)	0	13 (5)
平成23年	62 (32)	1 (1)	22 (9)	2 (2)	0	8 (3)	16 (10)	0	0	13 (7)
平成24年	71 (41)	2 (2)	22 (10)	1 (0)	0	4 (2)	23 (14)	0	0	19 (13)
平成25年	67 (30)	2 (2)	30 (10)	1 (1)	0	1 (1)	21 (14)	1 (0)	0	11 (2)
平成26年	71 (29)	0	30 (8)	0	0	1 (1)	23 (10)	0	0	17 (10)
平成27年	72 (39)	1 (1)	20 (8)	0	0	3 (2)	34 (20)	3 (2)	0	11 (6)
平均	58 (29)	1 (1)	25 (10)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	16 (9)	1 (0)	0 (0)	12 (7)

( )内は、救助活動件数を示す。

《平成27年度全国統一防火標語》

無防備な  
心に火災が  
かくれんぼ



平成27年火災・救急・救助統計

編集 瀬戸市消防本部 消防課  
発行 平成28年1月

〒489-0983 瀬戸市苗場町101  
TEL 0561-85-0479  
FAX 0561-21-6605

U R L ▶ <http://www.city.seto.aichi.jp/bunya/toukei-nenpou/>

E-mail ▶ [shobohonbu@city.seto.lg.jp](mailto:shobohonbu@city.seto.lg.jp)